

## 1. 図書館を巡る動き

### (1) 国の動き

ア. 「これからの図書館像 ～地域を支える情報拠点を目指して～」報告を公表（平成 18 年 3 月 20 日（これからの図書館の在り方検討協力者会議））

「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成 13 年文部科学省告示第 132 号）施行後の社会や制度の変化、新たな課題等に対応して、図書館運営に必要な新たな視点や方策等について提言がなされた。（図書館関連資料 P 24 参照）

具体的には、次の機能が十分に発揮されることにより、住民にとって役に立つ図書館として存在意義が確立できるものとした。

- （ア）住民の生活、仕事、自治体行政、学校、産業など各分野の課題解決を支援する相談・情報提供の機能の強化
- （イ）図書館のハイブリッド化 - 印刷資料とインターネット等を組み合わせた高度な情報提供
- （ウ）学校との連携による青少年の読書活動の推進、行政・各種団体等との連携による相乗効果の発揮
- （エ）図書館の資源の配分の見直し、職員の意識改革・資質・能力の一層の向上、利用者・利用団体への積極的な広報、利用者の視点に沿った弾力的運営、評価等

### イ. 図書館法の一部改正（平成 20 年 6 月 11 日施行）

教育基本法が改正（平成 18 年 12 月 22 日施行）され、同法に「家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない」が新たに追加されたことを踏まえ、社会教育法等の一部改正とともに、図書館法の一部改正がなされた。

（ア）図書館奉仕の留意事項として「家庭教育の向上に資すること」が加わるとともに、実施事項として

■ 図書館が収集し、一般公衆の利用に供する図書館資料に「電磁的記録」が追加

■ 「社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること」が追加された。

(イ) 図書館の運営状況に関する評価及び改善並びに関係者への情報提供等が追加された。

(ウ) 図書館協議会の委員に「家庭教育の向上に資する活動を行う者」が追加された。

## (2) 他の自治体の新しい取り組み

図書館の整備にあたって、他都市では、地域の特性や市民ニーズに応じた新たな取り組みを実践しようとする動きが見られ始めている。

区 分		概 要
市民 参画	伊万里市民 図書館 (佐賀県)	読み聞かせや対面朗読、館内外の清掃などを行う図書館ボランティアのほかに、市民が自主的に友の会を組織し、講演や学習会等の企画、図書館ボランティアとの連携や講座開催時における一部費用負担など図書館への支援、助言を行っている。
ビジネス 支援	浜松市立 城北図書館 (静岡県)	ビジネス支援コーナーを設置し、ビジネス分野の図書資料等の収集のほか、「起業」「資格・キャリアアップ」など特定のテーマに沿った展示を行っている。また、インターネットコーナーや無線LANサービスを提供するなどビジネスマンの利便性に配慮するとともに、産業支援機関と連携を図り、様々なビジネス支援情報を提供している。
	浦安市立 図書館 (千葉県)	開架スペースと別にレファレンス室(210㎡)を設け、レファレンスサービスの一環としてビジネス支援サービス(ビジネス関連の資料収集、レファレンス機能の充実、データベースの整備など)に取り組んでいる。また、商工会議所等との連携により創業支援セミナーを実施している。
	品川区立 大崎図書館 (東京都)	図書館内に区の産業振興担当部署の嘱託職員が駐在することにより、利用者からの専門的問い合わせへの迅速対応を実現している。同時に、地域NPO法人によるビジネス支援講習会の開催や商用データベースの無料開放等を行っている。

医療情報支援	東京都立中央図書館（東京都）	日本の公立図書館として初めて医療情報コーナーを開設し、医学・医療分野の蔵書、約3万5000冊を活用して、医療情報を提供する。医学・医療関連の図書や電子資料の閲覧のほか、医学・医療関係の新聞・雑誌から関連する映像素材まで調べることができる。
学校図書館とのネットワーク	市川市立図書館（千葉県）	学校司書を配置し、各小中学校と市立図書館のネットワークを構築している。学校からの貸出依頼はメーリングリストを活用しており、ネットワークにおける蔵書の有効活用を図っている。また、市立図書館では、ネットワーク専用に関書を確認しているほか、幼稚園や小学校への出張お話し会を実施している。
電子図書館	岡山県立図書館（岡山県）	インターネット上に、「岡山県図書館横断検索システム」のほか、さまざまな郷土資料やそのコンテンツが視聴できる「郷土情報ネットワーク」、レファレンス事例集としての「レファレンスデータベース」を備え、県内のどこでも格差なくサービスを提供することが可能になっている。

## 2. 市民ニーズ

### (1) 利用する図書館の印象

区分	図書館の印象
一般市民 (資料 P20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価が高いのは「職員の説明・対応」「図書の並べ方」「学習室や読書スペース」「館内の設備・明るさ」「館外の印象」「図書館全般の印象」で肯定的な回答が約5割。</li> <li>・評価が低いのは「図書の種類」「冊数」「図書館の催し物」で肯定的な回答が3割未満。</li> </ul>
図書館利用者 (資料 P20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価が高いのは、一般市民と同様の傾向にあるが、特に「職員の説明・対応」では9割以上、「図書館全般の印象」では8割以上で肯定的。</li> <li>・評価が低いのは、「図書の種類」「冊数」で肯定的な回答が3割台。</li> </ul>
高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価が高いのは、一般市民と同様の傾向。</li> <li>・評価が低いのは「図書館の催し物」で肯定的な回答が3割未満。</li> </ul>

( 2 ) 今後の図書館に望むもの

区分	さらに利用しやすくするために必要なこと
一般市民 (資料 P21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「専門書や新刊本など種類の充実 (29.8%)」「駐車場の整備 (25.4%)」「どこの図書館でも可能な返却サービス (23.1%)」の順。</li> <li>・年齢別では、30代と50代は「駐車場の整備」が1位、他の年代は「専門書や新刊本など種類の充実」が1位。</li> </ul>
図書館利用者 (資料 P22)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「専門書や新刊本など種類の充実 (39.9%)」「冊数の充実 (34.8%)」「どこの図書館でも可能な返却サービス (26.8%)」の順。</li> <li>・年齢別では、30代を除く全ての年代で「専門書や新刊本など種類の充実」が1位(30代は「冊数の充実」が1位)。</li> </ul>
高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「開館時間の延長 (32.9%)」「専門書や新刊本など種類の充実 (28.6%)」「冊数の充実 (22.9%)」「漫画の充実 (19.6%)」の順。</li> </ul>

( 3 ) 行事の認知度

区分	現在の図書館行事に対する認知度
一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読書会 (20.1%)」「子ども映画会 (16.6%)」「図書のリサイクル (15.6%)」の順。</li> <li>・年齢別では、50代以上で「読書会」「講演会」が1位。一方、40代以下では「子ども映画会」「ブックスタート」が1位、</li> </ul>
図書館利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書のリサイクル (54.7%)」「読書会 (47.9%)」「ブックスタート (31.9%)」の順。</li> <li>・年齢別では、50代を除く全ての年代で「図書のリサイクル」が1位(50代は「読書会」が1位)。</li> </ul>
高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読書会 (20.7%)」「子ども映画会 (14.6%)」「読み聞かせボランティア養成講座 (12.9%)」の順。</li> </ul>

### 3. 機能・サービスに対する評価

現行の図書館の機能・サービスについて、市民ニーズをみると、「職員の接遇」や「図書館への印象」などについては、肯定的な意見が半数を超えるなど、基本的なサービスの提供については一定の水準を確保していると考えられる。

しかし、「図書の種類」「冊数」では、「少ない、やや少ない」と答えた市民が「多い、やや多い」を上回るなど、図書の充実が求められている。

このような状況を受け、アンケートの「今後の図書館に望むもの」については、「専門書や新刊本など種類の充実」「冊数の充実」が上位を占める結果となっている。

このほか、「駐車場の整備」「どこの図書館でも可能な返却サービス」をはじめ、とりわけ図書館利用者では「インターネット予約」などを望む声も根強い。

今後は、図書館の駐車場、読書スペースなど設備の充実に合わせて、情報拠点としての図書館の機能が発揮できるソフト施策の充実が重要になっている。

### 4. これからの機能・サービスのあり方

#### (1) 機能等に対する基本的な考え方

図書貸出者数は、ここ数年増加傾向にあるものの、依然、他の政令市と比較すると低位にあり、利用率の向上にあたっては、利用者の交通利便性に配慮した図書館配置の検討にあわせて、返却フリーやインターネット予約などの機能・サービスの充実についても検討する必要がある。

この検討にあたっては、国の新たな方向や他都市の新たな取り組みも参考にしつつ、前回の答申との整合性にも配慮しながら、図書館外との連携や利用者の課題解決支援、電子資料の活用、市民参画、さらには家庭教育向上、子どもの読書活動の推進など幅広い視点に立ち、市民の学びに役に立つ図書館づくりを進めていくことが不可欠である。

実施にあたっては、本市の財政状況にも配慮しつつ、関係部署との円滑な連携を図りながら、(仮称)八幡西図書館整備にあわせて行うなど、計画的に推進されることが望まれる。

## (2) 具体的な施策

機能・サービスの向上のため、「図書館ネットワークの構築」、「市民の学びに役立つ図書館」、「次世代の育成を支援する図書館」、「誰もが使いやすく、情報や人が交流する図書館」、「市民参画型図書館」の5つの視点に59施策（うち新規31施策）を提案する。

### ア．図書館ネットワーク（連携）の構築

～学校、行政、各種団体等との連携を目指して～

市民が利用できる図書の実質を高めるため、市内の大学図書館や図書施設との連携を深め、市立図書館の枠を超えて市内に設置された図書館との連携や支援の実質に努めるとともに、その統括を中央図書館で実施する必要がある。また、小・中・高等学校との連携を進め、学校教育支援体制を拡充するほか、子どもの読書活動推進に寄与する必要がある。

#### (ア) ネットワーク（連携）統括機能の実質

- ◆ 大学図書館等との連携
- ◆ 図書館以外の図書施設との連携
- ◆ ひまわり文庫の実質
- ◆ 図書館の広域利用
- ◆ ネットワーク（連携）統括機能の実質

#### (イ) 学校等との連携による読書活動の推進

- ◆ **新**調べ学習用「調べ方マニュアル」の作成  
〔小・中学校と連携して、それぞれのレベルに応じた、調べ学習用の「調べ方（資料さがし）マニュアル」を作成し、ホームページで公開〕
- ◆ **新**学校向けニュースレターの発行の検討  
〔小・中・高校生向けのニュースレターを発行し、児童生徒からの意見等を図書館運営に活かす仕組みづくりの検討〕
- ◆ 学校向け団体貸出の拡充
- ◆ 学校貸出図書セットの拡充
- ◆ **新**図書館司書やボランティアの幼稚園、学校等への派遣  
〔幼稚園、保育所、学校、社会教育団体等との連携を深め、図書館司書やボランティアなどの図書館の人材を派遣し、図書館利用のアドバイスのほか、調べ学習、親子読書の推進、読み聞かせ、講座等を支援する。〕

## イ．市民の学びに役立つ図書館

～市民の暮らしやまちづくりに役立つ、生涯学習拠点機能の充実を目指して～

市民が日常の生活や仕事、地域活動や社会教育活動などのあらゆる場面で直面する様々な課題に対して、その解決を支援する相談・情報提供の機能強化に取り組むとともに、市内各地域で実施されている生涯学習活動の拠点となるために必要となるサービスを提供する必要がある。

### (ア) レファレンス機能の強化

- ◆ **新**相談内容のデータベース化  
〔実際の相談内容の中で、市民の調査研究に有用と思われるものをピックアップして、データベース化するとともに、ホームページで公開〕
- ◆ **新**「調べ方マニュアル」の作成  
〔ビジネス、医療、教育、子育て等について、市民が自分で調べる際の手引きとなる「調べ方（資料さがし）マニュアル」を作成し、ホームページで公開〕
- ◆ **新**郷土資料のデジタル化の検討  
〔劣化しやすい郷土資料を必要に応じてデジタルデータ化の検討〕
- ◆ レファレンス用図書資料の充実
- ◆ レファレンス担当職員の能力向上

### (イ) 特色ある図書館づくり

- ◆ **新**各図書館独自のホームページの作成  
〔各図書館独自のホームページを作成し、それぞれの特色ある取り組みや情報などを市民に向けて発信〕
- ◆ 郷土資料の充実
- ◆ 各種講座の開催
- ◆ 特色ある図書閲覧コーナーづくり
- ◆ IT機能の充実、活用（既存資料のデータベース化等）

### (ウ) 多様な生涯学習機会の提供

- ◆ **新**市民団体等の講座等への出張図書館の推進（団体貸出しの拡充）  
〔市民団体、NPO、民間事業者等が主催の講座、セミナー等の会場で、要請に応じ、講座に関連する図書の展示や貸出の実施〕
- ◆ **新**図書館の達人講座（図書館活用講座）  
〔ビジネス情報や生活情報の収集、調査研究等のために図書館を利用する市民に向けて、図書館を最大限に活用するためのノウハウを伝える講座を開催〕

- ◆ 学習活動の場、設備、資料等の提供
- ◆ 講座、研究会、読書会、映写会等の開催

(エ) 社会教育で学んだ成果の活用と提供

- ◆ 新 学習成果発表の場として図書館利用の検討  
〔生涯学習センター、市民センターなどの施設との役割分担をしながら、  
学習成果の発表の場としての図書資料を活用した図書館利用を検討〕
- ◆ 新 学習成果のまとめ方（資料作成）への助言、援助  
〔市民の学習成果の発表等を支援するため、資料のまとめ方（資料作成）  
等について助言を行うとともに、当該資料を図書館の地域資料として  
活用〕

## ウ．次世代の育成を支援する図書館

～子育て、教育支援図書館としての機能の充実を目指して～

少子化や核家族化など子育てをめぐる社会環境が大きく変化するなかで、読書活動を通じた様々な子育て支援事業を実施することにより家庭の教育力向上に資するとともに、子どもに親しまれ、積極的に利用される図書館整備を進める必要がある。

### (ア) 子育て支援、家庭教育支援

◆ **新**子育て、家庭教育関連図書資料の充実

〔図書館法改正（「家庭教育の向上に資する」）を踏まえ、子育て、家庭教育関連図書資料の充実を図る〕

◆ **新**図書館司書やボランティアの幼稚園、学校等への派遣【再掲】

◆ **新**家読（うちどく）の推進（※家読…家族で読書の習慣を共有し、読んだ本について話すこと）

〔家庭教育向上の基礎となる親子のコミュニケーションづくりの手段の一つとして家読を推進するため、推薦図書に関する情報提供やコーナーの設置などを行う〕

◆ 読み聞かせ会等の実施

◆ **新**子ども用トイレや授乳室の設置

### (イ) 学習活動への支援

◆ **新**調べ学習用「調べ方マニュアル」の作成【再掲】

◆ **新**グループ学習室の設置

〔図書館資料を用いてグループ学習を行うグループ用に専用の学習室を  
図書館整備に合わせて設置し、自由に討論などができる環境を整備〕

◆ 調べ学習用図書資料の充実

◆ **新**図書館司書やボランティアの幼稚園、学校等への派遣【再掲】

◆ 学校向け団体貸出の拡充【再掲】

### (ウ) ヤングアダルト（中高校生）機能の充実

◆ **新**調べ学習用「調べ方マニュアル」の作成【再掲】

◆ **新**ヤングアダルト（中高校生）と協働した取組の推進

〔ヤングアダルト向け図書の選書に際して、中高校生の意見を反映させる仕組みづくりや、中高校生と協働したイベントの企画・開催を推進〕

◆ **新** ヤングアダルト図書館サポーターの募集

（図書館のサポートやPR、図書館運営に関する提案などを行うヤング  
アダルト図書館サポーターの募集）

◆ ヤングアダルト向け図書資料の充実

## エ．誰もが使いやすく、情報や人が交流する図書館

～電子情報など多種の情報が集まり、誰もが交流する機能の充実を目指して～

情報化社会の急激な進展に伴い、市民生活でも電子情報機器やインターネットを利用したサービスなどが浸透しつつある。これらを新しい図書館サービスとして活用し、印刷資料と電子資料を組み合わせた高度な情報提供を実現する図書館のハイブリッド化を目指すとともに、情報だけでなく人も交流する、誰もが使いやすい図書館を実現する必要がある。

### (ア) パソコンの整備

- ◆ O P A C 端末（館内利用者用予約端末）の増設

- ◆ **新**パソコンルームの設置

（地区館以上に図書館整備に合わせて、パソコンを数台まとめておける専用スペースを確保し、プリンターも設置）

### (イ) ネットワークへの接続

- ◆ **新**公衆無線LANの設置

（利用者が図書館に持ち込んだパソコンをインターネットに接続できる環境を整備）

### (ウ) 商用データベースの活用

- ◆ **新**オンライン商用データベース（新聞記事、判例集、官報、企業情報など）の導入

（オンライン商用データベースが閲覧できる端末を設置し、複数の商用データベースを導入することで、図書館職員のレファレンス（利用相談）ツールとして役立つほか、利用者自身が情報活用に関心を得られる場を提供）

### (エ) 図書館ホームページ等の活用による情報発信

- ◆ **新**ホームページを活用した図書館情報の発信の検討

（図書館独自のホームページを作成し、新着図書情報や行事案内に加え、おすすめ本の紹介、エッセイやコラム、今日の一冊としたランダムな本の紹介、各館のフロア（書架配置）図など様々な情報を掲載し、魅力ある図書館情報の発信を検討）

- ◆ **新**子ども向けホームページの開設

- ◆ **新**メールマガジンの配信の検討

（登録された利用者のパソコンや携帯電話に新刊案内の配信を検討）

### (オ) 時代に即した各種サービスの充実

- ◆ **新**CD、DVDの貸し出し

- ◆ **新**相談内容のデータベース化【再掲】
- ◆ インターネット、商用データベース等の充実【再掲】
- ◆ 成人へのサービス（就職、転職、能力開発、実用書等の充実）

（カ）障害者へのサービス

- ◆ **新**対面朗読（視覚障害者向けサービス）
- ◆ **新**CDブックの収集、貸出（視覚障害者、一般向けサービス）  
 [視覚障害者とともに一般の利用にも供するCDブックの収集・貸し出し ]
- ◆ 手話や字幕入り映像資料の整備充実（聴覚障害者向けサービス）
- ◆ 関係機関、団体との連携  
 [障害者団体等の意見を取り入れた、より利用しやすい図書館づくりの推進 ]
- ◆ 図書館バリアフリー化の推進（ユニバーサルデザインの観点）

（キ）交流スペースの設置

- ◆ リフレッシュ（談話）スペースの整備（利用者がくつろげる場所の提供）

（ク）図書館職員の意識改革

- ◆ **新**リカレント教育（再研修）の実施  
 [図書館資料が活字資料に加え電子資料が発達してきたことで、図書館職員にも情報リテラシー（情報を活用する創造的能力）が求められるため、積極的な意識改革を促すための職員研修の充実を推進 ]

（ケ）利用者の視点に立った弾力的運営、評価

- ◆ 返却フリー（借りた図書はどの図書館でも返却可能）
- ◆ インターネット予約（インターネットでの貸出予約）
- ◆ **新**運営に関する評価制度の導入  
 [図書館の運営に関する評価を行い、公表するとともに改善を行う ]

## オ．市民参画型図書館

～市民やボランティアの参画できる機能の充実を目指して～

本市の図書館では、全国に先駆けて図書館に指定管理者制度を導入するなど、民間活力の導入に積極的に取り組んでいる。今後は、講座や学習会の企画運営に対する市民参画や、図書サービスの範囲にとどまらないボランティア活動への参画支援なども行うなど、利用者である市民の視点に沿い、弾力的な運営を実現していく必要がある。

### (ア) 市民の企画による行事の開催

◆ **新** 図書館行事アイデア募集事業の推進

〔図書館を拠点に活動する市民グループなどから図書館行事のアイデアを募集し、協働で実施〕

◆ **新** ヤングアダルト（中高校生）と協働した取組の推進【再掲】

### (イ) ボランティア活動の参画支援と活用

◆ **新** 多様なボランティアの活用（パソコン操作、子育て相談等）

〔読書ボランティア（読み聞かせなど）や図書館ボランティア（書架整理等など）のみならず、関係部局との連携を図り、対面朗読、パソコン操作、子育て相談など幅広い分野のボランティアを活用した図書館運営を推進〕

◆ **新** ボランティアバンクの検討

〔読み聞かせ等を希望する市民に対し、必要とするボランティア情報を迅速かつ的確に提供するため、ボランティアバンクづくりを検討〕

◆ 読書ボランティア、図書館ボランティアの育成、活用

### (ウ) 図書館協議会の充実

◆ 時代に即した図書館づくりの推進

〔多様化する図書館ニーズに対応し、効率的・効果的な図書館サービスが展開できるよう、適宜、現状把握や検証を行うなど、さらなる図書館協議会の充実に努める。〕